

【プロトコル】 CHROMagar™ Staph aureus 寒天培地の作成

改訂履歴

- ✓ 2025年7月14日：米田一路
 - v1.0：オリジナル版 v1.0 の作成.
- ✓ 2025年7月23日：米田一路
 - v1.1：オートクレーブ滅菌の処理が抜けていたため追加.

メモ

- ✓ 2025年7月14日現在、培地の節約のため、どんな目的であれ大シャーレ1枚に分注する培地の量は10 mLにしています。：米田
- ✓ https://www.kanto.co.jp/dcms_media/other/M-012.pdf (製品リンク)
- ✓ 調製した培地は室温で1日、冷蔵して約1か月保存できる.

用意するもの (1L 作成時)

- ✓ CHROMagar™ Staph aureus (82.5 g)
- ✓ MiliQ-Water (1L)
- ✓ メスシリンダー×1個
- ✓ 薬さじ×1個
- ✓ オートピペッター
- ✓ ピペット (10mL 以上) ×1個
- ✓ シャーレ
- ✓ 三角フラスコ×1個
- ✓ 攪拌子×1個
- ✓ ヒートスターラー×1個
- ✓ アルミホイル
- ✓ パラフィルム
- ✓ ジップロック

- ① 三角フラスコに、CHROMagar™ Staph aureus 82.5 g (1L 作成時) を薬さじで取り分ける。このとき、大腸菌等に汚染されていない薬さじ (洗剤等で洗浄後に超純水でゆすいだもの等) を使用する。
- ② MiliQ 水 1L をメスシリンダーで測り取り、培地の入った三角フラスコに入れる。
- ③ 培地の入った三角フラスコに、攪拌子を入れる。
- ④ 培地の入った三角フラスコを、ヒートスターラー上に置き、攪拌させながら熱を加え、培地を融解させる。このとき、アルミホイルをフラスコの口にかける (コンタミネーションの防止)。
- ⑤ 三角フラスコ内の培地が透明になったら、ヒートスターラーから三角フラスコを取り、110℃で5分間オートクレーブ滅菌する。※121℃で行わないこと。※5分以上熱さないこと。
- ⑥ クリーンベンチもしくはキャビネット内にオートクレーブ滅菌後の培地の入った三角フラスコを入れ、シャーレを取り出し、オートピペッターを用いて三角フラスコからシャーレに培地を分注する。大シャーレへの分注量は菌数を数える場合は 15 mL、菌を増殖させるだけの場合は 10 mL。小シャーレへの分注量は 7 mL。
- ⑦ シャーレ内の培地が固まったら、シャーレに蓋をし、培地側が上になるように置く (培地側を下にすると、培地から出た水蒸気が結露し、培地に落下してし

【プロトコル】 CHROMagar™ Staph aureus 寒天培地の作成

まいます).

- ⑧ 培地をパラフィルムで包み、ジップロックに入れ、冷蔵 4℃で保管する. 培地をすぐ（次の日）に使用する場合は、パラフィルムに包まなくても問題ないことが多いです. それ以上は、パラフィルムに包まないで培地がダメ（コンタミネーションする）になりやすいです.